

社会科の授業づくり

～教材研究の進め方～

岐阜県教育委員会

令和6年3月 更新

教材研究に対する先生方の声や困り感

- 「教材研究の仕方が分からない。」
- 「どうやって教材を開発しているのか知りたい。」
- 「教材研究は大事だとは思いますが、（自分自身の）時間が上手に生み出せない。」
- 「どうやったら子どもにとって楽しい教材が作れるのか知りたい。」



（事前相談や訪問等で直接先生方から聞く声より）

(例) 教材研究の進め方

「単元の構想」
スライドも参考
になります！

- ① 単元で育てる姿を明確にする。
- ② 1 単位時間の役割・つながりを明確にする。
- ③ 教材（学習内容）を吟味する。
- ④ 1 単位時間のねらいを明確にして単元を構成する。
- ⑤ 指導と評価の計画を立てる。
- ⑥ 「問い」を解決するために必要な資料等を精選する。
- ⑦ 1 単位時間の学習過程を検討する。
- ⑧ 一連の教材研究の在り方をチェックする。



① 単元で育てる姿を明確にする。

単元の終末段階までにどんな力を付けるか。

■ 学習指導要領や学習指導要領解説を用いて確認する。

C 近現代の日本と世界

(1) 近代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

- (ア) 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き
- (イ) 明治維新と近代国家の形成
- (ウ) 議会政治の始まりと国際社会との関わり
- (エ) 近代産業の発展と近代文化の形成
- (オ) 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現
- (カ) 第二次世界大戦と人類への惨禍

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (ア) 工業化の進展と政治や社会の変化，明治政府の諸改革の目的，議会政治や外交の展開，近代化がもたらした文化への影響，経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，アの（ア）から（カ）までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現すること。
- (イ) 近代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現すること。



② 単元で育てる姿を明確にする。

それぞれの1単位時間はどのような役割をもつか。

- 学習指導要領や学習指導要領解説を用いて確認する。



- 教科書で取り上げられている内容を確認する。



- 「内容のまとめり（単元）を貫く問い」を想定する。

社会的な見方・考え方を働かせて考察したり、構想したりすることができるか。

② 1 単位時間の役割・つながりを明確にする。

■ 「単元を貫く問い」を想定する。



■ 「小単元を貫く問い」を想定する。



■ 「1 単位時間ごとの問い」を想定する。



■ 学習において取り上げる社会的事象等を検討する。

- 教科書で取り上げる資料
- 教科書以外で必要となる資料
- 作業的で具体的な体験



③ 教材（学習内容）を吟味する。

どのように教材開発を進めるか。

児童生徒が「問い」を解決するために行う調査活動

文献調査

現地調査

聞き取り
調査



③ 教材（学習内容）を吟味する。

文献調査

- 新聞
- 書物
- 統計資料
- HPの情報

現地調査

- 地域的特色が見られる地域や施設等の見学



A運輸の倉庫内での野菜栽培の様子

聞き取り調査

- 社会で働く人々や企業等に取材



A運輸の担当の方へインタビュー

1 単位時間のねらいを明確にして、単元を構成する。

どのように単元を構成するか。

「単元の構想」スライドも参考になります！

4. 【単元と知識の構造図】

獲得した社会的な見方や考え方を現在に生きる自身の視点から歴史に問いかける場

中心となる社会的な見方や考え方を獲得する場

【第7時】戦争の終結・単元のまとめ

課題「戦争はどのように終結したのだろう。また、この戦争の学習から、学んだことをまとめよう。」

◎世界恐慌を受けて国の経済が苦しくなったドイツや日本は、資源を獲得するために他国へ侵略し、他国の人達に辛い思いをさせた。また、日本でも総力戦に向けて苦しい生活に耐えなければならなかった。大きな犠牲を出して戦争が終わった。私たちは、同じ過ちを二度と繰り返してはならない。

【第6時】(本時) Iさん達が冊子を作成した理由

課題「なぜIさん達は、直接戦争を体験しているわけでもないのに、玉の火薬庫についての冊子を作成したのだろう。」

「なぜIさん達は、一年半もかけて、玉の火薬庫についての冊子を作成したのだろう。」

◎玉の火薬庫という戦争に関わっている遺産について記録を残していくことで、これからの未来の人に平和の尊さを知ってもらいたかったのだ。戦争があった歴史の上に私たちの平和があることを忘れてはいけない。

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」を身に付ける場

【第2時】太平洋戦争の開始

課題「太平洋戦争はどのように始まったのだろう。」

◎日中戦争が長期化する中で、資源獲得のために南進した。ABCD包囲陣で石油などの輸出をストップされた日本は、アメリカやイギリスに対して戦争を起こした。

【第3時】戦時下の人々

課題「国民は戦争によって苦しい生活をしていたのに、なぜ戦争に協力していたのだろう。」

◎国家総動員法や治安維持法など国が制定した法律や戦争に向かわせるための教育、情報操作によって戦争に協力せざるを得ない状況に立たされていた。

【第4時】「玉の火薬庫」見学

課題「関ヶ原に残っている戦争に関わっている遺跡を見に行こう」

◎道は今よりも狭かったが、藤古川にかけられた橋は最新式。小関の間の道を通って、玉の火薬庫に運ばれた。施設内はトラックを使った。70年以上たった今も現存している遺跡だ。

【第5時】見学で得た情報の交流と整理

課題「玉の火薬庫見学で分かったことや考えたことを交流し、ノートにまとめよう。」

◎ずいぶんと大きな施設だった。1916年に火薬庫ができたということは、日本が軍事力強化していた時期と重なる。日中戦争や太平洋戦争のために、ここから火薬が運ばれていったのだな。

単元の追究の見通しを持つ場

【第1時】第二次世界大戦の始まり

課題「第二次世界大戦はどのように始まったのだろう。」

◎植民地のなかったドイツは、周辺の国々を侵略した。占領した地域では過酷な政策を行った。

【既習内容】

- ・世界恐慌が起こり世界の経済が混乱し、経済を立て直すために他国へ侵略しようとする国が表れた。
- ・ヨーロッパではドイツ、アジアでは日本が戦争の準備を進めていた。

単元を貫く課題

「第二次世界大戦の中で、人々はどのように生きぬいていったのだろう」

⑤ 指導と評価の計画を立てる。

どのように学びを評価するか。（指導と評価の一体化）

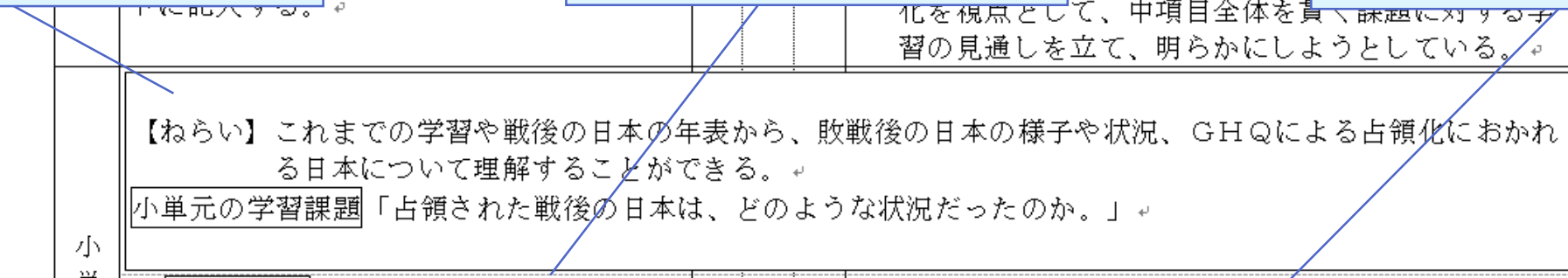
表3 指導と評価の展開（○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」）

	学習活動	評価の観点			評価規準等
		知	思	態	
中項	【ねらい】戦後の日本の歩みについて、国際社会との関わりの中で、民主国家の構築によって日本国憲法が制定し、国民主権が確立したことや、経済成長に伴い、国民生活や文化に大きな変化があったこと等を理解することができる。 <small>よく問い「戦後の日本は、戦後の諸改革は、どのような状況だったのか。」について「考察し、ワークシートに記入する。」</small>				<small>「経済成長」「日本の民主化を視点として、中項目全体を貫く課題に対する学習の見通しを立て、明らかにしようとしている。」</small>
小單元	【ねらい】これまでの学習や戦後の日本の年表から、敗戦後の日本の様子や状況、GHQによる占領化におかれる日本について理解することができる。 小単元の学習課題「占領された戦後の日本は、どのような状況だったのか。」 ① 1次の課題「占領された戦後の日本は、どのような状況だったのか。」について、これまでの学習を想起する。 ② 1次で学習した内容を踏まえて、戦後の日本の歩みとして、民主化を進める動きがあったことを理解する。	●	○	●	● 発言内容やノートの記述から、戦後の日本においてソ連による領土の不法占拠やアメリカによる統治があったこと、国民は貧困な生活を送っていたことを理解している。 ○ 発言内容やノートの記述から、アメリカのGHQによる間接統治によって、戦後改革が進める動きがあったことを理解している。

どんなねらいで

どんな活動を

どんな方法で、どの観点を見取るか



⑥ 「問い」を解決するために必要な資料等を精選する。

どのような資料等から学びを進めるか。

（例）情報を収集する技能

社会的な見方・考え方を働かせて課題(問い)に取り組むことができる資料か。



【1】調査活動を通して

○野外調査活動

- ・調査の観点（数，量，配置等）に基づいて，現地の様子や実物を観察し情報を集める。
- ・景観のスケッチや写真撮影等を通して観察し，情報を集める。
- ・地図を現地に持って行き，現地との対応関係を観察し，情報を集める。

○社会調査活動

- ・行政機関や事業者，地域住民等を対象に聞き取り調査，アンケート調査などを行い，情報を集める。

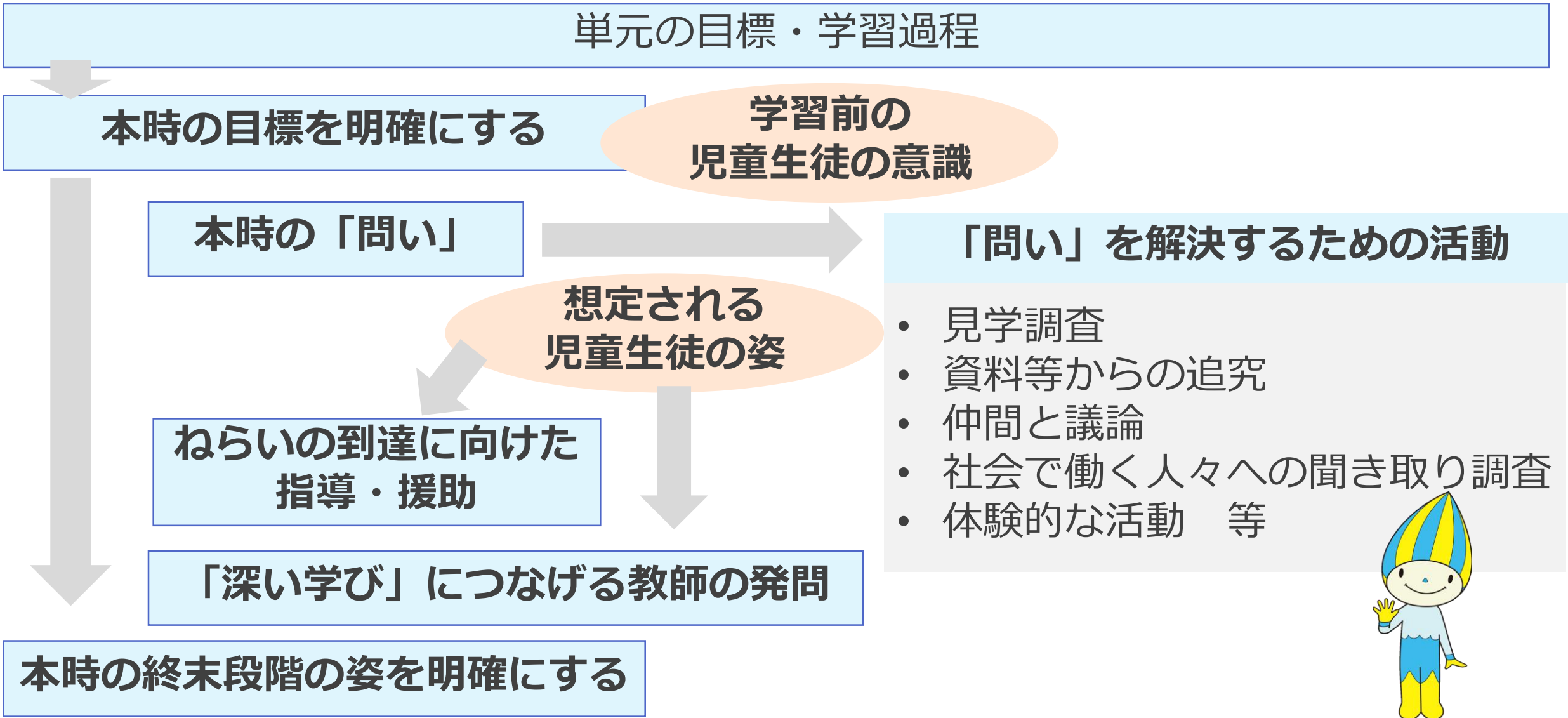
【2】諸資料を通して

○資料の種類

- ・地図（様々な種類の地図）や地球儀から，位置関係や形状，分布，面積，記載内容などの情報を集める。
- ・年表から，出来事やその時期，推移などの情報を集める。
- ・統計（表やグラフ）から傾向や変化などの情報を集める。
- ・新聞，図書や文書，音声，画像（動画，静止画），現物資料などから様々な情報を集める。

⑦ 1 単位時間の学習過程を明確にする。

どのような資料等から学びを進めるか。



⑧ 一連の教材研究の在り方をチェックする。

- 育てたい資質・能力は明確となっているか。また、学習の展開が結び付いているか。
- 単元の問いと1単位時間の学習が結び付いているか。
- 「なぜ」「どのように」等、児童生徒の問いが反映されているか。
- 児童生徒の目線から学習の展開が想定されているか。
- 児童生徒にとって、実感的に学ぶことができる教材の取り上げ方となっているか。
- 児童生徒のつまずきに対して、具体的な支援が想定されているか。
- 児童生徒自身が自らの学びの見通しをもったり、調整したりする場が位置付いているか。



社会科の授業づくり～教材研究の進め方～

岐阜県教育委員会